

カナリヤ通信



第5号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもちた女性が、社会の中で運く、それでいて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

～働き方について考え、気づく～

育児・家庭

今回は4月13日です。テーマは「トイレ」を予定しています

下山さんのある日のスケジュール 夫、子(小6、小2、年長)

5:45	起床
6:45	朝食
7:45	登校
8:00	登園、出勤
9:00	始業
12:00	昼休み
18:30	退社
19:00	帰宅
19:45	夕食
20:00	入浴
21:00	子ども就寝
22:00	家事等
23:30	就寝

子どもたちは、遅くとも6:30までに起きるように考えてありますが、何度も声をかけることも。

準備は各自で。次男と娘の食べ終わるのが遅いと片づけがバタバタ。

「ノートがなくなった! 消しゴムがない!」の報告を帰宅後になると「えーっ」となるのでたいは寝休みに車で行き出かけています。

玄関を開けたら「おなかすいた」と出迎えてくれることが多いです。そのまま台所に直行。

眠くなる前に次男と娘を急いで入れます。長男は後から入って、残り湯で洗濯機をセット。

子どもは連絡帳や宿題の確認など。自分の読書や趣味等もこの時間。



テーマは「育児・家庭」

動きながら子育てをする人が多くなりました。その背景には、育児制度が整備されたのはもちろんのこと、男性の育児参加や職場の理解が進んでいることも大きな理由です。取材をしていると、育児を通して子どもから学ぶことが多く、「育児が、子どもの行動や言葉から気がかかされる」ことが多いのにも驚かされます。今回は「育児・家庭」をテーマとして、それぞれに工夫を垣間見たいと思います。

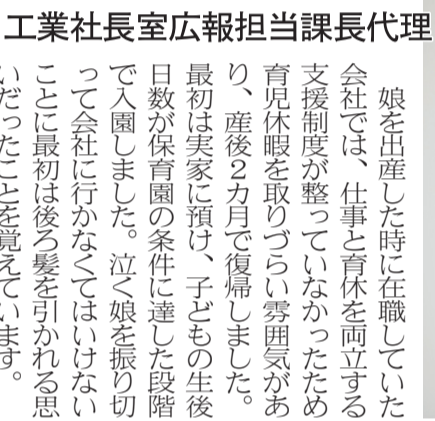
退社までどこまで終わらせるかを常に考え、何が起きかわからないので、できることは可能な限り前倒しするようにしています。帰宅時間などは、周りの人の理解と協力も必要です。

応用地質社会システム事業部DB技術部主任



入社当時は名古屋勤務で、同じ職場の人と結婚。育児は名古屋でのスタートとなりました。職住近接だったため、夫も保育園の送り迎えやお風呂に入れるなど積極的に育児に参加してくれました。その後、異動でくまの研究所勤務となり、夫も同時に異動となり、現在は、夫も同時に出張が多くなり、不在にしがちなため、いまは私の両親が歩ける距離に引っ越し、サポートしてくれています。3人の子育てはそれぞれ大変ですが、個性もそれぞれで、病気が多すぎず、一時期、子どもも保

元旦ビューティ工業社長室広報担当課長代理



娘を出産した時に就職していた会社では、仕事と育児を両立するための支援制度が整っていませんでした。育児休暇を取りつらいうつ病もあり、産後2カ月で復帰しました。最初は妻に預け、子どもの生後日数が保育園の条件に達した段階で入園しました。泣く娘を振り回して会社に行かなくなるとは思いませんでした。最初は、妻と夫と3人で食卓を囲み、色々と話をすることが日々の楽しみになっていました。たまたま私が弱気になると「何をいまさら」と娘が言います。「母が働くのが普通のこと」と思っている娘が働くようになった時、私は必ず育児を手伝おうと思っています。

仕事は質、子育ては密度が大切

「子どもは接する時間よりも密度が大切」という保育園の先生の言葉に、「仕事を辞めるのはいいけども、それよりも働いてきたものを守りたい」という思いが強くなりました。私も自分自身が働くことを最大限にやる、というスタンスを変えたいと、心のつかえを取って仕事もつまみ回すようになってきました。

子どもという時間はあくまでも子どものペースで、この遊びや絵本の読み聞かせを毎日休まずやりました。高校1年生になった娘は今でも読んであげた本を覚えていてくれます。

3年前、私は縁あって現在の会社に転職しました。男女問わず育児休暇が取りやすい環境と、育児支援制度が整った会社と、育児支援制度を取りつらいうつ病もあり、産後2カ月で復帰しました。最初は妻に預け、子どもの生後日数が保育園の条件に達した段階で入園しました。泣く娘を振り回して会社に行かなくなるとは思いませんでした。最初は、妻と夫と3人で食卓を囲み、色々と話をすることが日々の楽しみになっていました。たまたま私が弱気になると「何をいまさら」と娘が言います。「母が働くのが普通のこと」と思っている娘が働くようになった時、私は必ず育児を手伝おうと思っています。

生活スタイルに合った「最適解」見つけて

共働き世帯が増えている現在、日本に約11万人いるといわれる「主夫」(家事や育児を主に担当する男性)の存在も増えています。「仕方なく」ではなく、「子どもと過ごせる大切な時間を守るため」と笑顔で語る東大卒主夫の堀込泰三さんは、かつては専業主夫として、現在は2児の育児でかたわら在宅の翻訳業に携わる「兼業主夫」として、家事と育児をこなす。「どんな業界にあっても、ライフステージに合わせて夫婦の「最適解」を見出すことが大切」と語る堀込さんの生き方は、これからの建設業界にとっても、働き方の新たな一手となるかもしれない。長男誕生後、育児休暇(育休)を取得で



わが子の誕生日には似顔絵クッキーをつくる

9歳と4歳の息子たちを送り出し、部屋の片付けなど家事をすませ、翻訳の仕事に励む。妻の帰宅は深夜になるため、保育園の迎え、夕食づくり、寝かしつけまで、家事と育児をほぼすべて担当している。

最初から順風満帆だったわけではない。苦労もあった。児童館で繰り広げられる「ママ界」は「魔界」、でしかなかった。誰にも話しかけられない孤独を感じたが、「同じ子育てをしている職場仲間」と思えば壁は瞬間に取れなくなった。いまは「ママ友とランチをしてきたところ」と目を細めるほど、かつての魔界を楽しんでいる。

女性の社会進出が進み、今では一大事となった転勤問題。家庭があればまず単身で

赴任するか、家族を帯同するかの決断を迫られる。

堀込一家もこれに直面した。だからこそ、「(休職制度は)女性のための制度ではない。男性がついていく選択もあるのでは」と指摘する。

「育休が(主に)女性のための制度ととらえられていることも問題」とも。かつては大手企業に勤め、「早帰りする上司に不満を感じたこともあった」というが、主夫を経験したからこそ、「男性＝仕事」という固定観念を壊す必要を感じている。

わが子が家庭を築くころには「固定観念にとらわれず柔軟に生きられる世の中になってほしい」と願う。「主夫という選択もうれしいが、夫婦でよく話し合い、その都度、役割を交代し、幸せになれる「最適解」を見つけてほしい」とも。

春の訪れ 心から喜べない人に

日差しが明るくなり春の訪れを感じる今日このごろ。でも、待ち遠しく思っている人だけとは限らないのでは?

今回登場するのは浅田館の「はなのど飴EX」。1998年発売のロングセラー商品で抗酸化作用のあるビタミンCを1袋に450mg加えた栄養機能食品。プロポリスとシソ抽出物も配合しているので健康維持におすすめです。1粒なめてみると、メントールの強烈な刺激が鼻のどにスッと抜けていく感じで口の中がスッキリ。また、飴が溶けにくく美味しさやかわかさ持続します。

定番のレモン風味とシュガーレスのアップル風味、甜茶入りの3種類を用意。携帯にも便利な個別包装なのでお出かけの時もバッグにのせて、スキマ時間にちよっと一息、爽快感を味わってみてはいかがでしょうか。

■株式会社浅田館
明治20(1887)年に創業以来、129年の歴史を誇るのど周りの老舗メーカー。お馴染みの固形浅田館クールSを始め、せき止め、鼻炎薬などの医薬品、甘味料のシュガーカットやダイエットキャンディー等の健康食品なども手掛ける。

■「はなのど飴EX レモン風味」2袋を20名にプレゼント
住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部へメールでご応募下さい。締切は3月25日(金)です。

「はなのど飴EX」は、はなのど飴EXレモン味は、ビタミンCを加えた栄養機能食品

「はなのど飴EX」は、はなのど飴EXレモン味は、ビタミンCを加えた栄養機能食品

「はなのど飴EX」は、はなのど飴EXレモン味は、ビタミンCを加えた栄養機能食品

「はなのど飴EX」は、はなのど飴EXレモン味は、ビタミンCを加えた栄養機能食品

C「5時30分に起きる自信ありません!育児は無理かも(泣)」
A「大丈夫。わたしは子どもができてから、5時起きも平気になったよ」
B「うちは朝一番遅く起きると朝ご飯ができて。共働

きする以上、家庭での役割は半々という約束をしたの。育しみたい? (笑)」
A「がんばって育てても、中学生の娘は毎日生意気なことを言って腹が立つこともあるけれどね」

■お問い合わせ:株式会社日刊建設通信新聞社
カナリヤ通信編集部 03-3259-8711
■ご意見・ご感想・プレゼントの応募は
canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。
■トイレについてアンケートにご協力ください。詳しくはHPで。